

◆ 求められる人材・能力開発

- デジタル人材の育成が大事だ。経営者自身も学ばないといけない。
- ITリテラシーは最低限必要であるが、人間の感性や人間らしさ、個々が持つ得意な分野を本人が理解して、社会に生かしていける仕組みづくりも必要。
- テクノロジーの驚異的な進化とともに、人生100年時代を迎え、性別や年齢による制約がなくなる社会が目前に来ている。高校・大学、リカレント教育など総合的な人材教育が必要。

◆ キャリアアップに必要なとなる環境の整備

- 企業に勤める社会人が自分で時間を捻出することは難しい。能力開発に対する企業側の理解と支援が必要。
- 働き手の能力開発について、中小零細企業に経営戦略的な視点があまりない。知見を共有する場が必要。
- 既にある県内のリソースを結んでシナジー効果を生み出していくことが重要。（田坂先生の提案にあった）創発の場となるフォーラムの設立は大きなきっかけになると思う。
- 学び直しの機会は本当に大切であり、どこの地域に住んでいても、学びの場についての情報が得られるようにしていきたい。
- 山梨県は男女共同参画のランキングで下の方にあるが、逆に言えば伸びしろがあるということ。女性の能力を高められる環境を整備できれば県のイメージアップにつながる。

◆ 企業、行政、教育機関等が果たすべき役割

- 能力開発の必要性を経営者が理解し、自社が目指す方向で必要となるスキルを社員に示し、学習機会を提供することが必要。
- 一方で、中小企業は、様々な問題があって中長期的な視野でリスクリングに取り組む余裕がない。行政の後押しで企業側がメリットを感じられる制度を創設していくことが重要。
- 大学を上手に使っていただきながら、県内の方々の能力開発に役に立てれば本当に嬉しい。
- 誰一人取り残さないという目標を正に中等教育でも実践していかなければならない。必要となる経験や体験は学校現場だけでは難しいので企業の方々の協力もお願いしたい。